



平成22年3月期の業績予想及び経営方針

平成21年5月14日

上場会社名 明治ホールディングス株式会社
 コード番号 2269
 代表者 代表取締役社長 佐藤 尚忠
 問合せ先責任者 I R 広報部長 梅本 隆司

上場取引所 東証一部
 URL <http://www.meiji.com>

TEL (03) 3273-3917

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期の連結業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	571,000	—	10,500	—	10,500	—	4,500	—	61.10
通 期	1,143,000	—	25,000	—	25,000	—	11,500	—	156.15

(注)

1株当たり予想当期純利益の算出にあたっては、平成21年4月1日現在の発行済株式数を使用しております。

なお、発行済株式数においては、当社の子会社が保有する当社株式数及び当社の関連会社が保有する当社株式数のうち当社の持分に相当する株式数を控除しております。

平成21年4月1日現在の発行済株式数：73,648,974株

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金			配当性向 (連結)
	中間期末	期 末	年 間	
平成22年3月期 (予想)	円 銭 —	円 銭 80.00	円 銭 80.00	% 51.2

(注) 統合初年度の平成22年3月期につきましては、当期末時点の株主様に対して、1株当たり80円の期末配当を予定しております。平成23年3月期以降につきましては、中間期末を基準日とする配当（いわゆる中間配当）も実施する予定です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、2ページ以降をご覧ください。

グループ経営方針

(1) 会社経営の基本方針

平成 21 年 4 月 1 日、明治製菓株式会社(以下、明治製菓)と明治乳業株式会社(以下、明治乳業)の経営統合により、両社が長年培ってまいりました「明治ブランド」が結集し、新生・明治グループが誕生しました。

これを機に、当グループの姿勢を表すものとして、「グループ理念」、「経営姿勢」を制定いたしました。私たちは「食と健康」に関わる事業に携わる者として、その責任の重さを自覚しながら、お客さま、株主さまなどのステークホルダーに向け、経営統合の目的達成等により企業価値の継続的な向上を図ってまいります。

1) グループ理念

私たちの使命は、「おいしさ・楽しさ」の世界を拡げ、
「健康・安心」への期待に応えていくこと。

私たちの願いは、「お客さまの気持ち」に寄り添い、
日々の「生活充実」に貢献すること。

私たち明治グループは、「食と健康」のプロフェッショナルとして、
常に一步先を行く価値を創り続けます。

2) 経営姿勢

5つの基本

1. 「お客さま起点」の発想と行動に徹する。
2. 「高品質で、安全・安心な商品」を提供する。
3. 「新たな価値創造」に挑戦し続ける。
4. 「組織・個人の活力と能力」を高め、伸ばす。
5. 「透明・健全で、社会から信頼される企業」になる。

(2) 利益配分に関する基本方針

明治グループは、食と健康、薬品を主な事業とし、お客さまの生涯を通じて身近な存在として事業展開をしており、中・長期的に安定的な経営基盤の確保が不可欠であります。

したがって、各期の業績や将来の設備投資、投融資、研究開発投資等の資金需要に応えるため内部留保の充実を図るとともに、株主の皆さまへの安定的継続的利益還元を行うことを基本方針としています。

(3) 目標とする経営指標

明治グループは、グループの持つ強みを最大限に発揮し、既存事業の成長と統合シナジーの早期実現を図り、存在感ある「食と健康」企業グループを目指してまいります。

なお、目標とする経営指標につきましては、本年 5 月 27 日発表予定の当グループの「2009-2011年度中期経営計画」の中でご説明致します。

(4) 会社の対処すべき課題および中長期的な経営戦略

日本国内の少子・高齢化や人口減少による総需要の伸び悩みに加え、消費者のライフスタイルや価値観の多様化により、「食生活の多様化」、「健康意識の向上」、「食の安全意識の高まり」等のニーズを的確に捉えた商品開発や品質保証体制の重要性が高まっています。

こうした環境下において、明治グループは、明治製菓・明治乳業がこれまで幅広い分野にわたって蓄積してきた基盤技術、商品開発、生産技術、品質分析、知的財産や医薬研究の成果・知見、マーケティング技術、多様な販売チャネル等の経営資源を総合的な視点で活用し、「既存事業の強化」や「新たな需要創造による事業機会の拡大」、「調達・物流等のコスト効率化」等といった統合シナジーを追求し、各事業の成長、発展を図ることによって、「明治ブランド」の価値を向上させてまいります。

(5) 通期の見通し

少子・高齢化や人口減少による総需要の減少、食糧資源価格の乱高下等、厳しい事業環境のなか、既存事業の一段の成長と、事業再編を含めたグループ内の基盤整備に努め、統合シナジーを早期に具現化してまいります。

平成 22 年 3 月期の連結業績見通しにつきましては、本年 4 月 1 日に発表致しました連結業績予想数値を上方修正し、売上高は 1 兆 1,430 億円、営業利益は 250 億円、経常利益は 250 億円、当期純利益は 115 億円を見込んでおります。

平成22年3月期

自 平成21年4月 1日

至 平成22年3月31日

業績予想説明資料

平成21年5月14日

明治ホールディングス株式会社

目次

1. 明治ホールディングス株式会社 連結業績予想
2. (ご参考) 明治製菓株式会社分 平成 21 年 3 月期 決算短信
3. (ご参考) 明治乳業株式会社分 平成 21 年 3 月期 決算短信

1. 明治ホールディングス株式会社 連結業績予想

(1) 通期業績予想

(単位：億円未満切捨て)

		明治HD (連結)	明治製菓 (連結)	明治乳業 (連結)
売上高	当期	11,430	4,300	7,130
	前期	—	4,140	7,113
	対前期比	—	103.8%	100.2%
営業利益	当期	250	110	140
	前期	—	107	140
	対前期比	—	101.9%	99.7%
売上高営業利益率	当期	2.2%	2.6%	2.0%
	前期	—	2.6%	2.0%
	対前期比	—	±0	±0
経常利益	当期	250	110	140
	前期	—	96	139
	対前期比	—	114.5%	100.6%
売上高経常利益率	当期	2.2%	2.6%	2.0%
	前期	—	2.3%	2.0%
	対前期比	—	+0.3	±0
当期純利益	当期	115	40	75
	前期	—	25	59
	対前期比	—	156.5%	126.4%
売上高当期純利益率	当期	1.0%	0.9%	1.1%
	前期	—	0.6%	0.8%
	対前期比	—	+0.3	+0.3

(注)

明治HD (連結) の業績予想数値は、連結消去を考慮して表示しております。

(2) セグメント別 売上高

(単位:億円)

	平成 21 年度	参考前期比(%)
乳製品	5, 976	100.3
菓子・健康	3, 120	104.8
医薬品	1, 249	101.4
サービス他	1, 085	99.7
合計	11, 430	101.6

※セグメント別売上高の数値については、明治製菓・明治乳業両社の連結消去後の数字で表示しております。

※参考前期比については、前年実績数値を新セグメントに割当、算出しております。

【乳製品セグメント】

当セグメントは、従来の明治乳業の「食品」セグメントに相当し、市乳（牛乳類・ヨーグルト等）、粉乳（コナミルク等）、練乳、バター、チーズ、アイスクリーム、飲料、栄養食品（流動食・ヴァーム等）、畜産品等の製造・販売が含まれます。

当セグメントでは、安心して高品質な商品をお求めやすい価格でお届けできるよう商品の容量変更・価格改定等の実施、「明治おいしい牛乳」、「明治ブルガリアヨーグルト」、「明治北海道十勝チーズ」等主力ブランドの一層の拡販等により、消費者志向に対応できる商品の提案を推進してまいります。

【菓子・健康セグメント】

当セグメントは、従来の明治製菓の「フード&ヘルスケア」セグメントに相当し、菓子、砂糖および糖化穀粉等、健康食品（アミノコラーゲン等）、一般医薬品（イソジン等）等の製造・販売、スポーツクラブの経営等が含まれます。

当セグメントでは、「ミルクチョコレート」、「きのこの山」、「たけのこの里」、「キシリッシュ」、「アミノコラーゲン」、「ザバス」、「コクがおいしいミルクココア」、「イソジン」など主力ブランドを中心に、マーケティング戦略および店頭販促を強化し、シェアの拡大を目指してまいります。

【医薬品セグメント】

当セグメントは、従来の明治製菓の「薬品」セグメントに、明治乳業の「その他」セグメント中の医薬品事業（大蔵製菓等）を加えたもので、医療用医薬品および農薬・動物薬等の製造・販売が含まれます。

当セグメントでは、感染症・中枢神経系領域を中心とする新薬・ジェネリック医薬品への集中化と品揃えの強化を進めるとともに、本年度予定される複数の新薬上市を起爆剤に得意領域でのプレゼンスを高めてまいります。

【サービスその他】

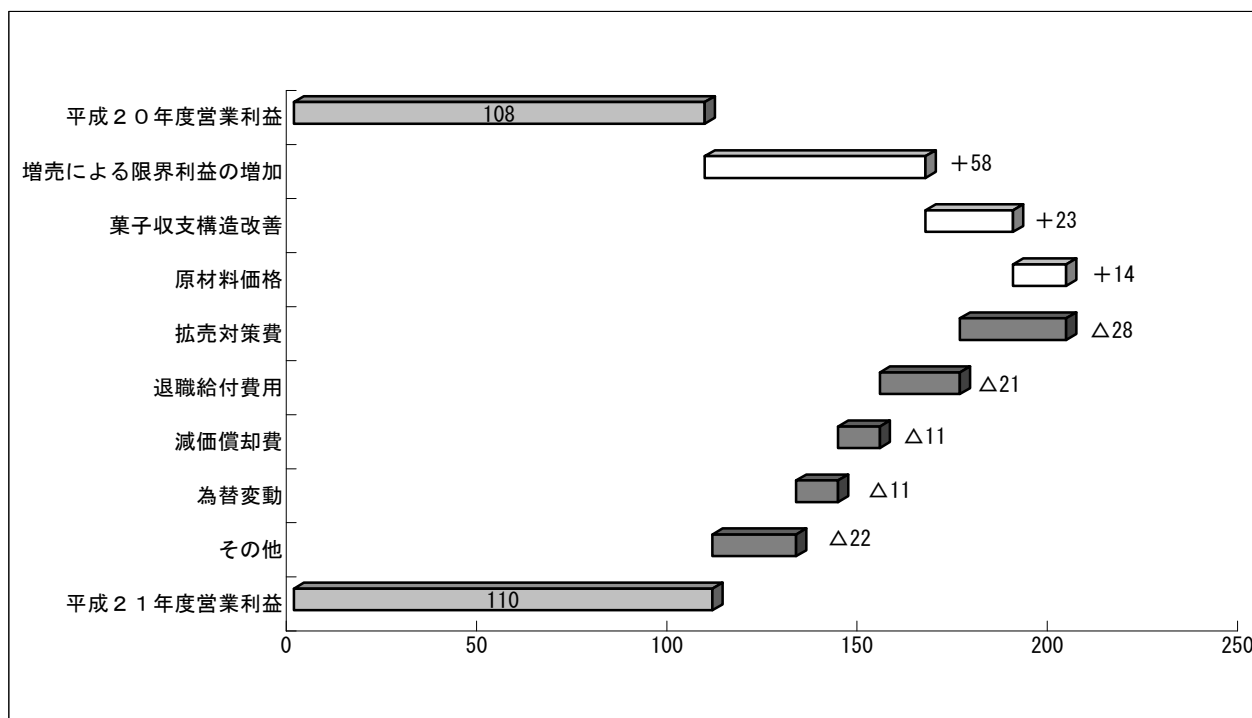
当セグメントは、従来の明治乳業の「その他」セグメントの医薬品以外に明治製菓の「ビル賃貸他」のセグメントを加えたもので、不動産、飼料、運送、倉庫、機械技術サービス、外食、保険代理店、リース等の事業が含まれます。

当セグメントでは、飼料事業において収益の改善を図るなど、各事業において売上維持・拡大、損益改善策を鋭意実施してまいります。

(3) 主な利益増減の内訳

明治製菓(連結) 営業利益 対前年実績増減内訳

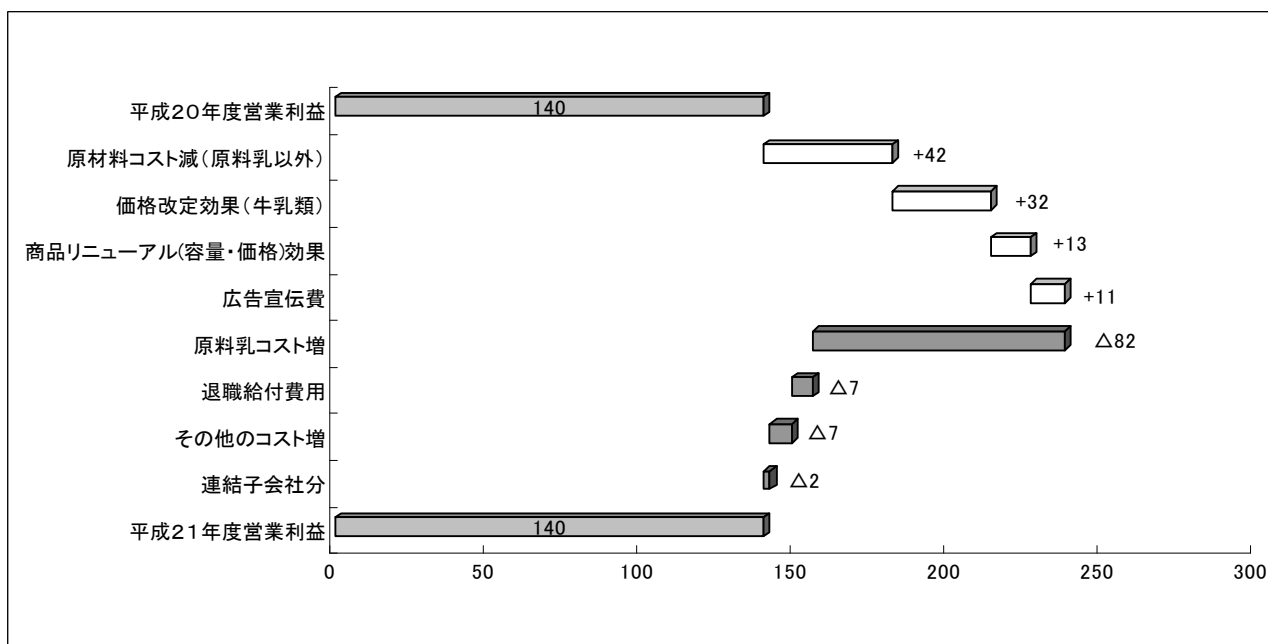
(単位 億円)



※営業利益については、連結消去後の数字で表示しております。

明治乳業(連結) 営業利益 対前年実績増減内訳

(単位 億円)



※営業利益については、連結消去後の数字で表示しております。

(4)設備投資額、減価償却費、研究開発費

(単位:億円)

	平成 21 年度	備考
設備投資額	638	認可ベース リース含
減価償却費	367	有形固定資産 リース含
研究開発費	226	

(注) 明治製菓・明治乳業それぞれの連結の合計額となっています。